



●ガバナー 成田 秀治 ●会長 西尾 和樹 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 吉田 立盛

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinohehinamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2206 回 例会 記録

《コミュニケーション委員会担当例会》

2022 年 4 月 7 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1638

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



伊藤職業奉仕委員長

《会長要件》西尾会長



みなさん、こんにちは。今日の例会からは、みなさんでお昼ご飯を一緒に食べる、というこれまで当たり前だった例会の形に戻りました。やはり、温かいご飯をみなさんで食べるのは良いものです。昨日までの当り前の日々がいつ非日常になるのか、そう思うと不安になることもあります。この当り前の大切さを改めて感じます。

先週の早朝例会の様子が早くも会報に掲載されています。みなさんで撮った集合写真は西尾家と親戚の方々といった感じの写真ですね。春休み期間中だったので、子どもたちも一緒に参加させていただきました。今年度は、家族で楽しむというのをモットーにイベントを考えていましたが、パークゴルフやバーベキューなど開催できないまま 4 月になってしまいました。6 月までに少しでもみんなでわいわいがやがやできるイベントができればなあ、と思っています。

今日は、コミュニケーション委員会担当例会です。吉田立盛委員長には、リモートで参加していただいております。さすが、コミュニケーション委員長！のちほど、リモートでの卓話をお願い致します。クラブとしては新しい試みとなります。

今月 4 月は、「母子の健康月間」ということで、今月のロータリーの友に特集が組まれています。この中で、今月から施行された育児・介護休業法について、詳しく掲載されています。法改正のリーフレットのように詳しく載っているのを見て、少し違和感を持ちました。それは、自分が社会保険労務士で業務として関わっているからなのかもしれません。これまでロータリーの友の内容は、ちょっと離れた（自分とは直接関係がない）活動や地域での記事を、対岸の火事として見ていたのかもしれない、と思いました。ロータリークラブは男性会員の多い組織です。男性社会のイメージという女性会員アンケート結果も掲載されていますが、女性会員を増やす、女性の社会進出、女性の管理職の割合を増やす、といっ

《出席報告》中村委員長

正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 4 名を含む 20 名。出席率は 76.9% です。



たクラブや社会全体の目標として数字目標が掲げられやすいですが、そのためには、ロータリーの友にも掲載されている男性の育児休業の取得が増えることや男性も女性も一緒に育児をする、というのが当たり前という、社会・職場での雰囲気の変化、意識の変化が必要です。その変化が当たり前になるには、時間もかかると思います。今回の改正、実は、半年ごとに 3 回改正される予定です。職場に周知するのも 1 度だけではなく、何度も長い期間に渡って周知することによって、職場の意識変化を促すことができるという意味で、今回の改正は社会に大きな変化を促すチャンスなのではないかと思っています。

ロータリークラブも同様で、クラブに入ってもらいたいなあという方、入りたいという方、そういう方が性別や年齢に関係なく、自然にクラブに入って活躍できる、それが当り前のロータリークラブになれば良いのでは、と思っています。

《本人誕生日》西尾会長



4 月 14 日、来週の例会の日が誕生日で 39 歳になります。30 代最後ということで、30 代の内にやっておいた方がいいよと言うことがあれば教えて頂きたいと思えます。よろしくお願ひ致します。

《配偶者誕生日》



清川会員



松橋会員



出員会員

《結婚記念日》



黒田会員



田守会員

《幹事報告》慶徳幹事



・理事会報告

○4月の例会の変更について、4月14日のお花見例会と4月21日の創立記念例会を入れ変えます。創立記念例会には築館ガバナーノミニと岩岡ガバナー補佐がいらっしゃる予定になっています。当日は黒田会員に卓話をお願いします。お花見例会はお花見弁当を用意いたしますが、当日こちらの会場で会食していただくという形をとることにしました。

○5月の例会プログラムについて、5月5日(木)祝日につき休会、5月12日(木)コミュニケーション委員会担当例会として、大澤会員の卓話、5月19日(木)は5月21日(土)に変更してよろず相談報告例会、よろず相談終了後17時頃から相談員報告の後弁当持ち帰りとなります。5月26日(土)次年度会長担当例会です。

○緑の羽根募金のお願いがきており、例年通りニコニコから3,000円寄付することにしました。

○蕪島清掃は5月1日前後を予定しております、インターアクトの参加は無しで会員のみとなります。日時等決まりましたらお知らせします。

・地区事務所より地区研修・協議会の案内が来ています。5月14日(土)、出席義務者には後程ご案内いたしますのでよろしくお願い致します。

・今月のロータリーレートは1ドル122円です。

・米山梅吉記念館より館報が届いています。

・サイクルアイが届いています。

・八戸西RCより例会場変更のお知らせが届いています。今月より例会場は八戸プラザホテルとなります。例会日、時間は変更ありません。

・むつRCとむつ中央RCの住所変更のお知らせが届いています。

・例会変更のお知らせ、八戸RC4月27日(水)時間場所変更、八戸東RC4月8日(金)時間場所変更、4月22日(金)時間場所変更、4月29日(金)祝日につき休会、八戸中央RC4月4日(月)4月11日(月)コロナ感染予防のため休会、4月26日(月)は例会変更して27日(火)に八戸北RCと合同例会。いずれのクラブもメーキャップは通常通り受け付けています。

《ニコニコボックス》中村委員長

西尾会長：吉田立盛委員長、今日はよろしくお願ひします。

慶徳幹事：吉田立盛委員長、リモートでよろしくお願ひします。

伊藤会員：赤穂さん写真ありがとうございます。

中村会員：ニコニコ

本人誕生日：西尾会長

配偶者誕生日：清川会員、松橋会員、出員会員

結婚記念日：黒田会員、田守会員



《職業奉仕委員会》伊藤委員長



先程幹事からもお話がありましたが、延期していたよろず相談を5月21日に行くことになりました。皆様には改めてお願いの案内をいたしますのでよろしくお願い致します。今朝の新聞でも、青森県は来週の11日から行動制限緩和ということで、少しずつ動き始めているのかなと思いますが、いろんな対策をしっかりとりながら、無理のない範囲でのよろず相談にしたいと思っていますので、ご協力をお願い致します。もう一点、5月には職場訪問例会として山形さんの地ビール工場へお邪魔したいと何度もお話していましたが、コロナの状況で色々な予定が変更になり今年度の実施は出来なくなりました。出来れば次年度に改めて計画していただければと思っています。

《PETS報告》清川会長エレクト

皆さんこんにちは、3月19日、20日にPETSを受けてきました。前にお話した通りRIのテーマは「イマジンロータリー」で、地区のスローガンは「ロータリーの思いを繋ぐ」だそうです。だんだんと自分の年度が近づいてくるのを緊張しながら迎えている毎日ですが、皆さんの協力を基に頑張りたいと思います。こちらが次年度のネクタイです。いつもだとロータリーマークが入っているのですが、今回はイマジンマークですので、普段から付けて行っても大丈夫だと思いますので、よろしければ皆さん購入をご検討をいただければと思います。



《コミュニケーション委員会》吉田立盛委員長(リモート)



しばらく例会に参加できていません。今日は担当例会だったので是非でも出席してお話したいと思っていたのですが、濃厚接触者になってしまい行くことが出来ません。4月1日に採用した職員が陽性になってしまいました。前職の久慈市の保育園でクラスターが起きたみたいで、うちの施設に入社したとたんに陽性が判明しました。4月1日に入社時のガイダンスを1時間ほど行っていましたので、濃厚接触者に認定されてしまい自宅待

中ですのでオンラインで参加させてください。PCR検査の結果が明日出るというので、ちょっとドキドキしています。しばらく僕には近づかない方がよいと思います。

今日はコミュニケーション委員会担当例会ということで、何を話そうかと思っていたのですが、毎回マイロータリーの登録についてのお話などをしていますが、今日は私のやっているVRの会社の事とか、IT関係の会社ですのでスマホの便利な使い方を皆さんにお話しできればと思っています。

私の会社はウィンチ合同会社といいますが、なんの事業をやっているかといいますと、VR事業とグーグルストリートビュー事業の二つの事業をやっています。VRというのは最近ニュースなどでもVRという言葉がよく出ていたのでわかる方はわかると思いますが、なじみのない方にもいっちゃると思いますのでVRとは何かという事をお話いたします。

ウィンチ合同会社の事業内容

VR事業

観光施設、住宅やマンションなどのVRコンテンツの制作
研修向けのVR動画制作などを行っています。

Google street view事業

店舗ビジネス向けにGoogleストリートビューの導入支援をしています。

こういう事



VRとは一体何か、今皆さんにお見せしている資料は、先日青森県宅建協会からVRの話をしてほしいと言われて作った資料でそのま

まお話していますが、VR=バーチャルリアリティー、バーチャルリアリティーとは見かけや形は現物そのものではないが、本質的、あるいは効果として現実であり、現物である事。とよく分からない説明が書かれてありますが、要は本物

こういう事(2)

自宅にいるのに、遠く離れた観光スポットで感動



こういう事(3)

地上200mの高所で綱渡り。落ちそうになってしゃがみこんでしまう



出来るのがVRだと考えています。地上200mの所で綱渡りをする体験をしてみたり、現実では中々出来ないことをバーチャルで体験する、業界でよく言われるVRのキーワードは、没入感と存在感、いわゆるそこに居る、目の前にあるというような感覚を得られる、体験を得られる、こういうのがVRで、見たりするのではなく体験をする、VRで良

VRの2つのキーワード

- ・没入感(immersive) いる!
- ・存在感(presense) ある!

VRが提供するのは**体験!**

いコンテンツとしてよく言われるのが、体験をしたことで生理的反応が起きる、そういうのが良いVRだと言われています。例えば、それを見たことでドキドキして心臓が早く鼓動するとか、冷や汗をかく、驚いて体が動いてしまう、そういう生理的反応が起きるVRコンテンツは非常に素晴らしい、なんでかという没入感と存在感が非常に高いVRコンテンツの一つの要素だと考えています。

文字→画像→動画→体験の時代へ



2018 マーク・ザッカーバーグ 公開講演録より

最近流行りだしてきているVRというのが、どういう流れで来ているかというのをFacebookの創始者のマーク・ザッカーバーグがCSと

いうIT関係の世界的に大きなイベントの基調講演で話をしたのが、昔は情報の伝達手段というのは文字が中心で、文字から画像、写真とかカメラが開発され画像が入り情報量が増えて、最近はYouTubeとかテレビもそうですが動画が主体になっています。その先に待っているのがVRの体験で、そういう時代に今シフトし始めているのではないかとというのがマーク・ザッカーバーグの考え方で、今後はもっと身近に体験をしていく時代が来るのだらうなと考えています。例えばテレビや新聞を見ていて旅行番組とかをみて、その動画で沖縄とか楽しそうだなと思っても、実際に行った体験は出来ませんが、VRの場合は実際に行ったような仮想の体験が出来ます。こういうのが今後増えてくると考えています。

最近ではVRという言葉よりも、XRという言葉が増えてきていて、VR(仮想現実)、AR(拡張現実)、MR(複合現実)という3つの次世代の体験を総称してXRと言われています。ですからVRやARやMRの事をXRコンテンツと言って、このXR技術が最近では非常に進歩してきています。

AR(Augmented Reality)とは



当社ではこの中のXR技術のVRの所だけを今は提供していますが、このAR技術というのはかなり身近になってきているので、今後皆さん

も体験するようになるのではと思います。VRは皆さん見たことがある方もいると思いますが、実はARも皆さんのスマホの中に入っていて、グーグルマップにARを開始というボタンがあり、グーグルマップ上でナビする時にARで、実際の道路に矢印が重合わされ、この様に現実の風景に矢印が表示されるようなAR技術が使われています。例えばイケアとかニトリさんとかで売っている家具の大きさをスケールとか巻き尺を持って行って実際に測ったりとかしていましたが、このARアプリを使うと合わせるのは少し難しいですが、実際に家具を置けるの

家具設置のARアプリが普及



かとか、壁紙との色合いはどうかとかを仮想で体験できます。このようなアプリはだれでも使えますから普及してきています。

ビジネス用途で活用が進むMR



代表的なMRデバイスはマイクロソフト社のホロレンズ。



MRは少し面倒なので動画で見てもらいたと思います(動画)これはトヨタが使っているMRという技術です。MRゴーグルをつけて車の整備

をしています。このようにMRを使って車の故障診断とか整備点検の作業に活用すれば、今迄熟練の人しか分からなかった修理とかの手順もMRゴーグルをつけることで、入社間もない人も熟練の人と同じような作業ができるようになってきたりしますが、このMRゴーグルを使うことによってできるようになっているということです。

VRとかXRですが、どれくらい社会的に認知されてきたかという、アメリカの有名なニュース雑誌であるTIMEの表紙に2018年に取り上げられていることから、大分普及してきていると考えるのが良いのかなと思っています。VR市場は右肩上がりにどんどん成長してきていて、ビジネスの分野でもかなり大きな市場規模になってきており、今後どんどん拡大していく分野と言われています。ただ、今のVRはまだ成長途中と言われていて、携帯電話に例えると肩から掛ける大きな電話がありました

VRはどれほど認知されたか

世界で最も有名なアメリカのニュース雑誌であるTIME紙の表紙にもなった



Why Virtual Reality is About to Change the World

VRゴーグルの現状

VRの技術はまだ初期段階とされている



がありましたがVRはこの大きな肩掛けの電話からコードレス電話的な大きさの電話になったような段階で、スマホほど洗練されていないというか、まだまだ開発の初期段階と言われてます。私が60歳とか70歳になるころには、普通にコンタクトレンズのような小さなデバイスに情報が映しだされて、誰もが普通にVRを体験しながら生きている時代になるのかなと考えています。

VRがビジネスの分野で何が一番使われているかというと、従業員のトレーニング使われています。教育向けの研修分野とかに使われていて、最近では学校の授業とか、子どもたちへの教育の部分でもVRが使われていて、弊社でも昨年から久保田会員の会社と一緒に、弘前大学の附属特別支援学校さんへVR映像を提供して授業に使っていただいています。トレーニングとVRは凄く相性が良くて、画面だけ見て勉強したり、黒板だけ見て勉強したりするよりは、VRゴーグルをつけて子供たちに体験をしても

らった方が、習熟度が高まるということで、VRが教育分野や研修教育にすごく相性が良いと言われてます。

アメリカ最大の小売りウォルマートがVR研修を採用

米国の小売大手のウォルマートは、従業員向けのVR研修を導入しています。同社はトレーニング用に、17,000台の一体型VRヘッドセットOculus Goを購入したことが明らかになりました。



アメリカ最大の小売りウォルマートでは、従業員向けのVRトレーニングを導入していて17,000台ほどのVRゴーグル

を各店舗2台配備して、従業員に使っています。国内でも居酒屋の塚田農場さんとかセコムさんなどが、社内の研修にVR

VRを教育研修に取り入れている企業



原簿記【簿記検定】の四十八講義を全国に展開するAPRパルビーは2017年7月9日、VRを用いたアルバイト向け研修プログラムを公開しています。APRパルビーは社員に現場の業務や研修センターを体験する機会を創出しています。アルバイト従業員約5,000人を対象に導入していく予定です。

VRを教育研修に取り入れている企業



セコム株式会社は警備業務となるVRを活用した研修プログラムを社員教育に導入しています。具体的には研修プログラムは「壁が崩れるまでの避難経路」や「避難経路の確保」をテーマにして、実際に表示される全画面の映像を見ながら、その状況における避難経路を積極的に体験学習することが可能です。

技術を導入していて、特にセコムさんは実際に会社に泥棒が忍び込んできた場面、VRでなければ再現できないような緊迫感を体験でき、現実

に起きにくいことを体験する、非日常を体験するにはVRはとても相性の良い教材だと思います。

建設現場の高所作業でどうなるか、落下したら死んでしまいますけれどVRなら「やばい、落ちた」というような怖い体験ができ、VRで体験することによって「怖い」ということが記憶に刻まれるそうで、積木製作所さんでは「安全体感VR」というトレーニングを導入しており、導入する会社が増えてきています。

積木製作所の事例



<安全体感VR> 現実では難しい、墜落、落下、挟まれ、火傷等の体験をVRで実現。体験する事によって安全意識の向上を目指します。



VRというのはこのような感じの技術ですが、では弊社でやっているのはどんなVRかというと、これはうちの会社のホームページ画面ですが、弊社では実写系VRと言って、バーチャルモデルハウスのようなものを作っていて、例えばリビングダイニングに入ると360度家の中が見渡せるようなVRを使っていて、写真で見るとは実際に近い景色をお客様が見られるし、コロナ過であちこち移動したくないという方に、バーチャルショールームのような形で見ていただくことをやっています。

皆さんにスマホの使い方などもお話したかったのですが、時間が来てしまいました。便利なスマホの使い方は又の機会にお話したいと思います。